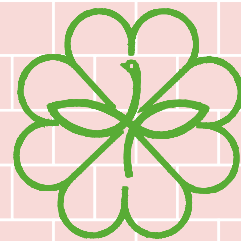




# ほっとinみえ



Vol.46

- ◎三重県における民生委員制度創設100周年記念事業  
「民生委員活動インターンシップ」PICK UP !! 鈴鹿市
- ◎令和5年度 在宅福祉委員会研修会
- ◎令和5年度 主任児童委員研修会
- ◎令和5年度 第92回全国民生委員児童委員大会 広島大会
- ◎見聞録／伊勢市防災センター
- ◎編集後記



三重県民生委員児童委員協議会HP  
(ほっとinみえのバックナンバーも見られます)

令和6年能登半島地震により尊い命を失われた方々とご家族の皆様に  
哀悼の意を表するとともに、被災されたすべての方々に  
心よりお見舞い申し上げます。

被災地の皆様の安全と、1日も早い復旧・復興を祈念いたします。

特に、珠洲市社会福祉協議会様、珠洲市民生委員児童委員協議会様には、  
昨年12月に「令和5年度災害に備える民生委員・児童委員活動に関する研修会」にて、  
はるばる三重県までお越しいただき、令和4年以来、度々発生した震災のご経験をお話  
いただいた矢先の出来事であり、研修会に参加された皆様の中にも  
心を痛めておられる方も少なくないと思われまます。

また、三重県下各民児協の皆様におかれましては、  
「令和6年能登半島地震義援金」へのご協力をいただき、誠にありがとうございました。  
被災地の復旧・復興のためには、息の長い支援が欠かせません。  
震災の記憶を決して風化させることのないよう、  
今後も可能な限りの支援に努めてまいります。

三重県民生委員児童委員協議会  
会長 山本 壽人



冊子内のQRコードを読み込んでいただくと  
動画や関連サイトをご覧ください。

※QRコードに対応する機器のみ読み取りができます。  
※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

令和6年能登半島地震への支援について

※最終ページの編集後記をご覧ください。

# 三重県における民生委員制度創設100周年記念事業

大正12(1923)年、民生委員の前身となる方面委員が三重県において初めて設置され、100年が経過しました。これまで多くの民生委員・児童委員の方々が活動され、そこで得た識見を継承され、進展されてきました。近年、誰もが主体的に地域に参加し、ともに支え合い、助け合い、安心して生活ができる「地域共生社会」の実現に向けた取り組みを推進している中で、民生委員・児童委員の一層の活躍が期待されています。

民生委員・児童委員活動に対する県民の理解促進および認知度向上を図り、今後の地域福祉活動の推進をより一層強化し、住民に最も身近な支援者である民生委員・児童委員が強く結束することを目的に令和5年度、三重県と県民児協が以下の事業を行いました。

## 民生委員・児童委員活動 インターンシップ事業

県内大学で学ぶ学生を対象に、民生委員・児童委員活動に同行するなどし、地域福祉の実情に触れることができるインターンシップ事業を実施しました。

市 町	参加大学	実施期間(回数)	内 容	参加人数
四日市市	四日市看護医療大学	令和5年10月～12月 (7回)	・子ども食堂 ・見守り訪問	33人
鈴鹿市	鈴鹿医療科学大学	令和5年8月 (4回)	・子育てサロン ・地区間交流会	4人
津 市	三重短期大学	令和5年10月～12月 (11回)	・学生との意見交換会 ・コミュニティカフェ	10人
伊勢市	皇學館大学	令和5年10月～12月 (6回)	・高齢者会食会 など	17人

## 記念フォーラムの開催

開催日 令和6年3月21日 13:00～16:00

場 所 三重県総合文化センター 大ホール

### ■基調講演

「“とも共育ときょうどう協働”の大切さを知ろう！」

講 師 泉恵造研修企画工房 泉恵造氏

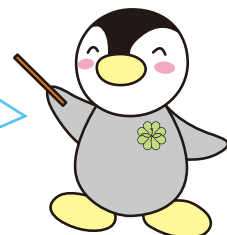
### ■シンポジウム

インターンシップに参加した学生や現役の民生委員・児童委員から、活動に対する思いなどをお話いただきます。

## 活動紹介リーフレット および動画の作成

現役の民生委員・児童委員やインターンシップに参加した学生の声などを反映した民生委員・児童委員の活動内容を紹介するリーフレットおよび動画を作成しています。

3月21日に開催する  
記念フォーラムにて発表！  
三重県版ミンジーの  
発表もあるよ！



## 「民生委員活動インターンシップ」



鈴鹿市は、鈴鹿医療科学大学(医療福祉学科)とタイアップしてインターンシップをスタートしました。大学の要望により、夏休み期間中の実施に向けて、鈴鹿市民生委員児童委員協議会連合会役員会にて各地区の会長と協議を行い、以下のスケジュールで実施しました。

### ●1日目(8/7)

#### 一ノ宮地区 事前研修／高齢者サロン

事前研修として、民生委員・児童委員の説明と鈴鹿市の現状を説明、その後サロン活動へ移行。音楽療法では、学生から「皆さん元気に身体を動かされていました」との感想をいただきました。



<高齢者サロン活動>

### ●2日目(8/8)

#### 栄地区 子育てサロン／高齢者見守り訪問

高齢者見守り訪問では、事前に許可をいただいたお宅に、同行訪問をしました。学生は、高齢者の方と優しく接し、お話をしていました。



<子育てサロン>

### ●3日目(8/15)【中止】

#### 白子地区 障がい者施設での地域ボランティア活動

月1回の障がい者施設訪問を予定していましたが、台風7号接近に伴い、中止を余儀なくされました。

### ●4日目(8/18)

#### 飯野地区、牧田地区 合同の子育てサロン

夏休み中の小学生を対象に、子育てサロンで児童との関わりを見学しました。

### ●5日目(8/31)

#### 玉垣地区、一ノ宮地区 地区間交流会／振り返りと意見交換

地区間交流会の中で、学生から「委員のやりがいとは？」という質問があり、「活動の中でお年寄りの方に喜んでもらった時の笑顔」との答え。学生達も納得していました。



<地区間交流会>

最後の振り返りでは、見守り訪問時の安否確認の重要性、深刻な委員のなり手不足と高齢化についての質疑応答を実施しました。学生の参加により民生委員・児童委員を知ってもらい、次世代へ少しでも繋がることを期待し、若い世代にバトンを渡すことができる活動を考えていきたいと思えます。



<振り返りと意見交換>



# 令和5年度 在宅福祉委員会研修会

近年では、地域における社会環境の変化、複雑化など私たち民生委員・児童委員への期待と役割はますます大きくなっています。特に各関係機関と連携し取り組んでいくことが重要視されています。

昨年の一斉改選後、半数近くが新任委員であるという現状をとらえ、また『地域共生社会』の実現に向けて、今回の研修では、民生委員・児童委員とつながりのある各関係機関とのやりとりなど、さまざまな観点から具体的な活動事例を報告していただきました。

開催日 令和5年11月1日

場所 三重県総合文化センター 中ホール



## 事例報告① 名張市

### 『地域共生社会をめざして～

#### まちの保健室と民生委員さんとの関わりについて』

名張市福祉子ども部地域包括支援センター

センター長 柴垣 維乃 氏

### 3組織の活動内容

名張市では、15地域のまちづくり組織とまちの保健室、民生委員・児童委員が三者一体となって地域の状況に合った支援を展開しています。

地域づくり組織	■地域の活性化（お祭り、イベントの開催）	■住民主体の生活支援	■子育て広場
	■防犯パトロール	■配食サービス	■教育との連携
		■有償ボランティア	
8単位民児協	■サロン開催（子育て—13サロン・高齢者—22サロン・その他—5サロン）		
まちの保健室	■健康福祉総合相談	■健康、介護予防講座の開設	■サロン開催等の支援

## 事例報告② 津市

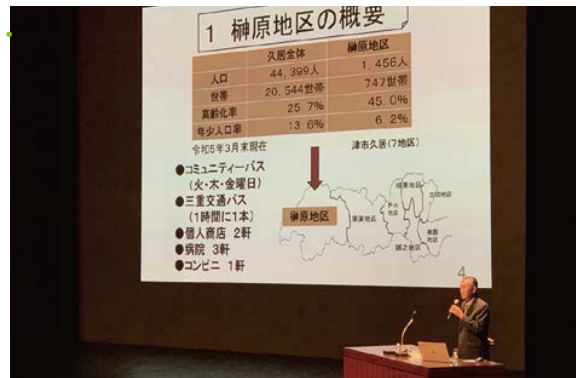
### 『榊原地区見守り活動について』

榊原地区社会福祉協議会

会長 山川悦郎氏

榊原地区民生委員・児童委員

坂口 鈴美氏



### 地区社協の活動内容

榊原地区社協では、行政、地域の各種組織・団体と民生委員・児童委員およびその経験者で「ふれあいと支え合いを育む住民組織」として活動しています。

■ あいあい託老所事業	■ ふれあい事業地域（高齢者と子どものサロン）	■ 心配ごと相談所
■ 一人暮らし見守りネットワーク	■ 地域の活性化（お祭り、イベントの開催）	■ など

## 参加者の感想

- 他地区の取組事例の発表は、具体的でわかりやすく、自分達でもできること、やらなければならないことが明確になるので、とても勉強になります。多くの地域の声が聞きたいです。
- 民生委員・児童委員だけではなく、自治会、関係諸機関とのつながりが必要。見守り活動がスムーズに進めば、わたしたちの活動が少し助かると思います。

# 令和5年度 主任児童委員研修会

主任児童委員の全体研修もコロナ感染症の流行により、一日を通しての開催ができませんでしたが、ようやく今年度開催することができました。

県下では、347名の主任児童委員が各地区で活動しています。研修会当日は約300名が参加し、午前には「子どもの権利条約」、「三重県子ども条例」等の取り組みをお聞きし、子ども達だれもが、いつでも、どこでも、安心して自信を持ち、自分で声を上げるための支えの制度「子どもアドボカシー」活動の取り組みと普及、私達主任児童委員は地域でアドボケイトになることの大切さ等を学び、午後からは参加者でロールプレイをして人の話を聞く、境界線を知る、うまく聞き出す話術等、楽しく研修を受けることができました。また、最後に、三重県児童相談センターから「里親制度について」の説明を聴かせていただきました。

今回の研修を今後の私達の活動に活かし、子ども達に寄り添えるよう活動していきます。

**開催日** 令和5年11月14日

**場 所** 三重県総合文化センター 中ホール

## 「子どもの権利

～子どもが話しやすい環境をつくる～

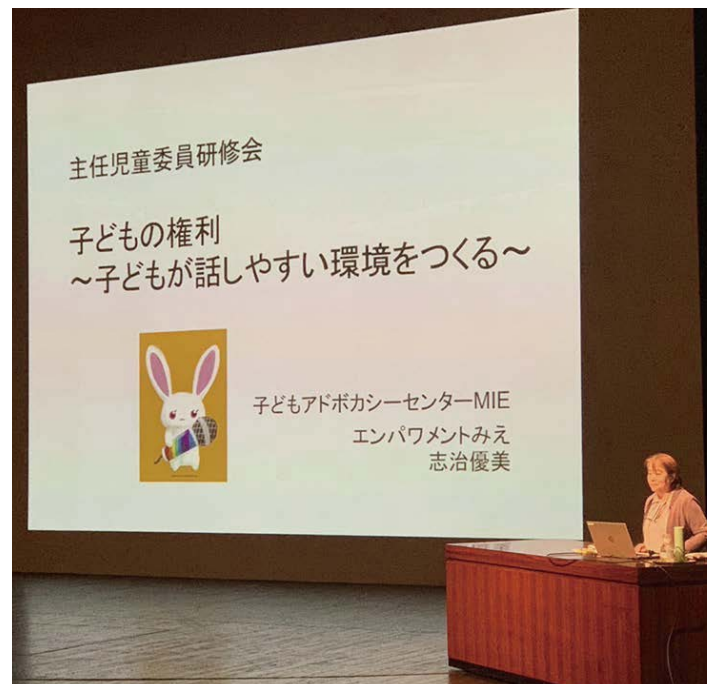
子どもアドボカシーセンターMIE事務局  
エンパワメントみえ 志治 優美 氏

## 参加者の感想

- 聴くだけでなく体験型の講演だったので、隣の方と会話しながら楽しく考えながら学ぶことができました。
- 主任児童委員は子ども達にとって「歩く相談員」という言葉が印象に残りました。子ども達と同じ目線で話せるよう日々の活動に活かしたいです。
- 相手の思い、気持ちを“目で聴き、耳で聴き、心で聴く”大切さを痛感しました。子ども達に接するとき心がけたいと思います。

子どもアドボカシーとは・・・

子どもが意見や考えを表明できるようにサポートすること。アドボカシー(advocacy)は、ラテン語の「voco(声を上げる)」に由来します。子どもアドボカシーを実践する人を「アドボケイト」といいます。



## 令和5年度に開催したその他の主な研修会

研修名	日程	会場
単位民児協会長研修会	令和5年6月28日・29日	鳥羽シーサイドホテル
災害に備える民生委員・児童委員活動に関する研修会	令和5年12月13日	三重県総合文化センター
新任民生委員・児童委員研修会	令和5年12月21日	三重県総合文化センター
民生委員・児童委員ブロック別研修会	令和6年1月～3月	県内各地

# 令和5年度 第92回全国民生委員児童委員大会 広島大会

全国民生委員児童委員大会が広島市の広島グリーンアリーナとその周辺会場(広島国際会議場、リーガロイヤルホテル広島)で、2日間(11月21日～22日)に渡り、全国から約3,200名の民生委員児童委員が集まって開催されました。

〈大会要綱より/趣旨要約〉

令和4年度の一斉改選では、委員定数が初めて24万人を超えるとともに、約15,000人が欠員となり「なりて確保」が一層困難になっている状況が明確になりました。また、新型コロナウイルスによるさまざまな制限等で生活困窮者の増加、多発する自然災害への平常時の備えが求められるなど、さまざまな課題に応じて必要な支援を地域ぐるみで行うことが重要になっています。秋には国のこども施策の重要事項を定める「こども大綱」が示され、民生委員児童委員活動の一層の充実と活動について考える契機となることを目的に開催。



## 第1日目会場：広島グリーンアリーナ(広島県立総合体育館)



### 山陽高校和太鼓部 弾

開学116年を誇る伝統校、奇想天外な演出と和太鼓の舞台表現の可能性を追求

ほどよくゆるく、  
まあーるく つながる地域のかたち  
～ おたがいさまの社会に生きる幸せ ～

講師 信友 直子 氏 (テレビディレクター・ドキュメンタリー映画監督)

両親は広島、東京から遠距離見守りを行うが、ある時から母の認知に気づく、周囲の支援を拒む両親。父は周囲に「なんともない」、母は「行動を監視されている」と誤解。老老介護に向き合う難しさや障害を感じたときの介護支援との連携・導きが大切であると再認識する講演でした。

東海テレビNEWS ONE:信友監督の映画『ぼけますから、よろしくお願いします』のニュース特集動画▶▶▶



11:30 12:30 13:00 14:20 15:20 15:40 16:00

受付

オープニング

式典・表彰

特別講義

大会宣言

アトラクション

### 三重県を受賞者の皆さん (敬称略)

#### 民生委員・児童委員功労者表彰 (全国：572名)

出口昌子 湯田由佳里

#### 永年勤続民生委員・児童委員 (全国：1,481名)

伊藤 健一 上村 満 太田 勉 大谷 勇  
小田ゆり子 嶋田律美 松葉 清 眞弓満知美  
丸山うづる 山端一敏 山本壽人 米塚啓二



### 広島市消防音楽隊

演奏だけでなく、「カラーガーズ隊」としても華を添えて活動



# 第2日目会場：広島グリーンアリーナ、広島国際会議場、リーガロイヤルホテル広島

9:00

9:30

12:30

受付  
活動交流集会  
シンポジウム

広島国際会議場



区分	No.	テーマ
活動交流集会	1	高齢者が安心して暮らし続けることができる地域づくり
	2	障がい者が生活しやすい地域づくり
	3	子育て・子育てを応援する地域づくり
	4	生活困窮世帯への支援と民生委員・児童委員活動
	5	住民同士で支え合う地域共生社会の実現に向けた民生委員・児童委員活動
	6	民生委員・児童委員の活動環境整備
	7	民生委員・児童委員活動を支える民児協機能の強化
シンポジウム	1	災害に備える地域ぐるみの体制づくりに向けて ～多様な主体と連携した民生委員・児童委員による地域防災活動～
	2	新たなこども政策とこれからの民生委員・児童委員活動

三重県から28名の民生委員・児童委員が参加。活動交流集会とシンポジウムに分かれ、コーディネーターから現状の課題、これからの民生委員・児童委員活動における方向性を活動事例(単位民児協から3事例程)と交えた情報交流会となり、今後の委員のモチベーション向上に繋がる大会となりました。

年々、福祉制度の更なる充実を目指した施策に対応すべく、関連する専門家と協調・連携を深めながら活動し、「地域共生社会」の実現に向けた更なる取り組みが求められています。



本大会の詳細については、「ひろば」2月号をご覧ください。

全国民生委員児童委員連合会HP内の  
民生委員・児童委員専用ページ  
(パスワード:20131201)



次回の全国大会は宮崎県で行われます。

【引用資料】 第92回令和5年度全国民生委員児童委員大会 令和5(2023)年度全国民生委員児童委員連合会表彰名簿

# 見聞録

## 「伊勢市防災センター」

(伊勢市)



「伊勢市防災センター」HP



伊勢市防災センターは、防災について、子どもから大人まで楽しく学べる体験型学習施設です。ぜひ、【見て】【体験】して防災に関する知識や技術を身につけ、【もしも】の災害に備えてください。ご家族、グループ、職場等でお気軽にお越しください。なお、建物は防災センターと消防本部との併設になっています。

また、3階の防災体験学習室は、【防災】【映像】【消火】【避難】【救出】【救命】【備え】の7つのゾーンで構成され、防災について、子供から大人まで楽しく学べる体験学習施設です。ぜひ、見て・体験して防災に関する知識と技術を身につけてください。



～単位民児協での視察研修先の

候補として、参考にしてください～

お申込みに関するお問い合わせ

伊勢市防災センター

電話：0596-25-5719 Fax：0596-25-5721

所在地：伊勢市楠部町159番地1（倉田山公園内）

※施設を利用する場合、伊勢市ホームページより「伊勢市防災センター使用申込」内の申請書をダウンロード・記入の上、提出してください。

## 編集後記

表紙の山本会長からのメッセージにもありましたが、新年早々に大きな震災がありました。県民児協でも募金活動をさせていただきましたが、更なる支援を希望される個人・団体様へ義援金の受付窓口をいくつかご紹介させていただきます。

### ●中央共同募金会「令和6年能登半島地震災害義援金」

被災された方を支えるための義援金

<https://www.akaihane.or.jp/saigai-news/gienkin/34975/>



中央共同募金会  
義援金ページ

### ●日本赤十字社「令和6年能登半島地震災害義援金」

被災地の方々の生活を支援するため、被災都道府県が設置する義援金配分委員会へ全額送金

<https://www.jrc.or.jp/contribute/help/20240104/>

日本赤十字社  
義援金ページ



ほっと in みえ 第46号 (2024年3月15日発行)

発行者:三重県民生委員児童委員協議会(広報啓発委員会)

事務局:三重県社会福祉協議会内 TEL. 059-227-5145 FAX. 059-227-6618